《第17回Wリーグ開幕会見　コメント》

JX-ENEOSサンフラワーズ

【佐藤清美ヘッドコーチ】

昨シーズン、チームの状態が悪かった時というのはやはり吉田がいない時で、その吉田が復帰した後はチームに落ち着きが出てきました。そういう意味で今シーズンは吉田が開幕からいるということは非常に心強く思っています。まだ日本代表の選手が戻ってきて3週間くらいの練習なので、現在はチームオフェンスやチームディフェンスの確認をしているという状況ですが、代表選手たちがいない間に若手の選手たちが非常に頑張ってくれてレベルを上げてくれたので、その辺りを生かしながら試合に臨みたいと思います。

一番期待しているのはキャプテンとなった吉田ですが、その他にということであれば、2年目の宮崎、山田、西山らのアウトサイドからのシュート確率がかなり良くなってきていますので、彼女たちも積極的に使っていきたいと思っています。

【＃0吉田亜沙美キャプテン】

今のチームには、もちろんディフェンスからブレークというJX-ENEOSのバスケットを徹底できるかというところが求められてくると思いますが、一人一人の精神面の強さを上げていくということが8連覇からさらに連覇し続けるために必要になると思いますので、そこを徹底的に求めていきたいと思います。

私自身はキャプテンではありながらコミュニケーションを取るのが少し苦手なので、プレー面で表現して皆についてきてもらえるようなバスケットをしていければと思っています。

《第17回Wリーグ開幕会見　コメント》

富士通レッドウェーブ

【BTテーブスヘッドコーチ】

昨シーズンはファイナルの舞台に立つことができて光栄でしたが、3連敗に終わりました。しかし完敗したことによって、2つのことを学びました。「ファイナルで勝つ」という気持ちとボックスアウト、その2点です。今シーズンはそれを克服することが課題となりますが、まずボックスアウトについてはありきたりですが、常にボックスアウトの練習を重ねてきました。もう一つのチャンピオンに勝つ強い気持ちというのは一日では作れないものですし、時間がかかります。毎日の努力で身につけなければならないものだと思っています。

今シーズンは、特に注目する選手がいるというよりはバランスの取れた布陣になっていると思いますが、その中でも、昨シーズンはあまり活躍ができなかった長岡選手に期待しています。ケガがあって代表には選ばれませんでしたが、そのことで逆にモチベーションを上げて練習に取り組んでいますので、頑張ってくれると思います。

【＃10町田瑠唯キャプテン】

ヘッドコーチが言われたように、今シーズンは強い気持ちと、昨年はリバウンドで負けてしまった部分があったので、ボックスアウトをしっかりしてリバウンドを取り切ることに重点を置いています。また、スピードと、40分間オフェンスもディフェンスも攻撃的に向かっていくということが必要だと思っています。

キャプテンというよりはポイントガードとして、今何をしなければならないのかということをチームにどんどん伝え、プレーでしっかり示せるようにしたいと思っています。

《第17回Wリーグ開幕会見　コメント》

デンソーアイリス

【小嶋裕二三ヘッドコーチ】

昨年は、レギュラシーズンはそこそこでしたが、終盤コンディションの悪い選手が出てしまったということが一番の反省点でした。年間を通して頑張れる、活躍できるようなチーム作りをしていかなければいけないと思っています。

春先から夏くらいまではケガをしている選手はリハビリに専念させましたので、９月中旬くらいからようやく全員そろって練習ができるという雰囲気になってきました。そういう意味ではリーグに向けてかなりいい形で仕上がってきているのではないかと思いますが、やはりやってみないことにはわからないので、今は不安の方が大きいです。

主力選手はもちろんですが、デンソーの場合はラッキーガールが出てこないことには試合を勝ち抜くことができないという意味で中堅から若手の選手でその日出てくる選手に期待したいと思っています。

【＃14大庭久美子キャプテン】

昨シーズンはレギュラーシーズンでは練習してきたディフェンス面では機能したところもありましたが、セミファイナルでは課題となっていたオフェンス面で力を発揮できなかったことが敗因になりましたので、今シーズンはオフェンス面で、厳しいディフェンスから走りを生かしたスピードを生かした速い展開と、外からの得点力というところを強化してきました。

キャプテンとしては、皆が目標である「優勝」という同じ方向を向くように全体が意見を出しやすい雰囲気づくりと、強い気持ちを持って練習に取り組むということを意識してやってきました。

《第１７回Wリーグ開幕会見　コメント》

トヨタ自動車アンテロープス

【ドナルド・ベック　ヘッドコーチ】

　このトヨタ自動車のヘッドコーチという職について、まずはチャレンジだと感じています。最初にこのチームを「ポジティブな文化」に変えることから始め、今新しくオフェンス・ディフェンスのシステムを導入していますが、選手たちも日々その新しいシステムを理解しようと頑張ってくれています。
　今のところチームはポジティブな状態で来ていますが、選手は一生懸命頑張ってくれています。どれだけ情熱的にできるか、どうやったらよりハードにプレーできるか、どうやったら勝ちに向かえるか、そういったところに重点を置いています。
　私のシステムではキープレーヤーというのはいませんが、その日その日によって一番いいパフォーマンスをしてくれる選手がキーになると思います。もちろんその日キープレーヤーになれる選手がたくさんチームにいますので、それがいい形で出せていければと思います。

【＃２３鈴木一実キャプテン】

　キャプテンとしてヘッドコーチからとくに要求されていることはありませんが、チームとしては、ディフェンスをしっかり守ってリバウンドを制し、オフェンスを遂行するということを求められています。
　チームとしては、ヘッドコーチが求めている、特にディフェンス面などを選手全員が遂行することが、優勝につながってくると思います。

《第17回Wリーグ開幕会見　コメント》

シャンソン化粧品
シャンソンVマジック

【丁海鎰ヘッドコーチ】

まず皆さんにご挨拶します。3年振りにこの場で挨拶できてうれしく思っています。よろしくお願いいたします。

昨シーズンからベテランの選手が3名ほど引退しまして、今は若い選手が多いです。さらに新しいバスケットを皆一生懸命頑張ってやっていますが、どこまでできるかはわかりませんが、今までのシャンソン V マジックのチームではなく、新しく生まれ変わって、本当に「シャンソンVマジックらしい」チームを作っている最中です。初戦は大変かと思いますが、一戦一戦しながら強くなりたいと考えています。

正直どこまでできているかわかりませんが、相手の選手よりも自分の選手が怖いです。どこまでやれるのか、どれだけできないのか。そんな状態ですが、とりあえず真剣に一試合一試合を勝ち続けられるように頑張ります。

本川選手がこの前のオリンピック予選で大活躍して、本人も自信を持ってバスケットに取り組んでいるので頑張って欲しいと思います。ポイントガードの三好選手、センターの河村選手、そういった選手達が中心となってチームを引っ張ってくれればいいと思います。

【＃8藤吉佐緒里キャプテン】

昨シーズンまではフリースタイルでやってきたのですが、今年からがらりと変わって組織的なオフェンスになったので、最初はひとつひとつ約束事が多くてそこに戸惑いましたが、今はその中でも個人個人の個性を活かせるようになってきたと思います。あとは、攻撃的なディフェンスを求められているので、それはまだもう少しだと思うので、そこをチームとして意識してやっていきたい。

キャプテンとしては、自分自身ケガをしてしまって、コートに立てる状態ではないのですが、若いチームですのでもっともっと勢いをださせたり、丁さんのバスケットを外から見ながら自分がわかることはアドバイスしたりすることが、今自分に求められていることだと思っています。

《第17回Wリーグ開幕会見　コメント》

三菱電機コアラーズ

【山下雄樹ヘッドコーチ】

今シーズンは、『D・A・S・H』をスローガンに掲げて強化してきました。ゴールを「奪取」する、勝負を「奪取」する。これはもちろんのことですが、『D・A・S・H』、D＝団結力、A＝アタッキング、S＝スピード感、H＝ハート（折れない心）、この4つを重点強化策としています。

今シーズンの戦い方ですが、「三本の矢」を軸に戦いたいと考えている。1つ目の矢は、インサイドの要である王新朝喜。2つ目の矢は、特攻隊長である渡邉亜弥。3本目の矢は、その日その日のコンディションと対戦相手によってもう一本の矢を立てながら、この3本の矢を軸に戦いたいと考えている。

【＃24王新朝喜キャプテン】

今まで足りなかったあと一歩のところ、一本のリバウンドだったり、一本のシュートであったり、ディフェンスだったり、自分たちがその力を出し切って、ヘッドコーチがよく仰る「ビッグシュート」とか「ビッグプレー」をどれだけ出せるかで、セミファイナルに進出できるかどうかが決まると思うので、その意識を持ってやっていきます。

今のチームは若い選手が多く勢いがありますので、その雰囲気に乗りながら、練習中に大事なことを自然に伝えあっているという感じがしています。

《第１７回Wリーグ開幕会見　コメント》

トヨタ紡織
サンシャインラビッツ

【中川文一ヘッドコーチ】

昨シーズンは、ゲームごとに出来不出来が激しいところがあり、いい時はそこそこ良いのですが、悪くなったらとことんダメになる、そんな不安定さがありました。それは、本人達の自信の無さや、私の指導が行き届かなかったなど多々理由があったと思いますが、今年は私自身が４年目に入りますので、選手が安定してプレーができるようにしたいと思います。そのためには、ディフェンスをより強化しながら、できるだけ得点を取りに行く意欲をもってプレーしてもらいたいと思っています。

メンバー的には、渡邊というガードの選手が引退をしたということで、その代わりには池田選手が入り、それ以外は昨年とほぼ同じ布陣で臨めるのかと思っています。新人を加えて今１１人の選手がいますが、この中で試合に使えない選手はいないかなと思っています。どの選手を起用すべきかということはありますが、それぞれの選手に可能性があると感じています。昨年は成績を五分に持って行けたのですが、今年はできれば勝ちが負けを上回りたいと考えており、レギュラーシーズンでは、５位（２次ラウンド上位進出＝プレーオフ進出）を目標に頑張っていきたいと思っています。

【＃３３長部沙梨キャプテン】

昨シーズンは、やはり勝負所で自分たちのミスが出てしまったり、気持ちの弱さがありましたが、今年は何事にも強気で向かっていくという気持ちがあるので、そこを意識していきたいと思っています。

昨シーズンよりは一人一人の攻め気が強くなったと思いますので、その辺りは向上しているのではないかと思います。

《第１７回Wリーグ開幕会見　コメント》

アイシン・エィ・ダブリュ ウィングス

【李玉慈ヘッドコーチ】

昨シーズンは、危機管理もうまくいっていませんでしたし、受け身になった部分がかなり多かったので、今年はそれを積極的に変えようと考えています。選手とはかなりコミュニケーションを取ることができましたし、体作りからはじめ、個人の動き、コンビネーションの練習を主に準備してきました。去年はガード陣で苦労した部分がありましたが、今年はちょっと成長したなとも感じています。５人で攻めて５人で守るということをかなり強調してきましたので、昨シーズンよりはいい形で戦えるのではないかなと思っています。

鍵を握るプレーヤーは、キャプテンの田中選手と馬瓜エブリン選手。昨シーズン以上に活躍してくれると思っています。

【＃６田中真樹キャプテン】

ヘッドコーチが求めるバスケットへの理解力が高まるとともに、選手同士がよく話し合うようになったので、チームとしての一体感が高まっていると思います。

キャプテンとしては、チームの中では私より上級生の方が何人もいるので、その中でコミュニケーションを取っていくことが一番大事だと考えていますので、上級と下級生をうまくまとめていくことを中心にやってきています。

《第17回Wリーグ開幕会見　コメント》

新潟アルビレックスBBラビッツ

【炭田久美子ヘッドコーチ】

私はチームに就任してまだ5ヵ月、チームは5年目とまだまだ歴史の浅いキャリアのないチームです。環境的にも練習の時間が十分に取れなかったり制限されていたりします。企業チームやクラブチーム、いろいろな形があるかと思いますが、WJBLのチームとして同じ土俵で戦うのですから条件うんぬんではなく、このレベルでバスケットボールをプレーする選手としての厳しさや、やらなくてはいけないことだけはチーム全員がきちんと統一して臨んでもらいたいと思っています。それを踏まえてまず私としては、現在はチームの基盤づくりの段階と考えています。サマーキャンプの頃は、とてもチームの体をなしていない状態でしたが、だんだん選手も言ったことを理解してくれて、理解度が高くなってきている。だんだん良くはなってきていると思っています。

キャプテンの出岐と、それから小さいチームですがその中でもオールラウンドに動くことができる畑中がポイントになる選手だと思います。

【＃34出岐奏キャプテン】

個人的な課題は、勝つためには何でもやるということを求められているというところです。ただ現状は、今は10のうち3ぐらい応えられているという状況なので、開幕まで約1週間で上げていきたいです。

キャプテンとして現在のチーム状況を見ますと、今年は年齢の上の選手が移籍してきてくれたので精神的な余裕がチームに出てきたと思いますし、若手の選手は思いっきり自分のプレーや特徴をだそうと頑張っているので、そこがかみ合えば大きな力になると考えています。

《第１７回Wリーグ開幕会見　コメント》

羽田ヴィッキーズ

【古田　悟ヘッドコーチ】

　コーチとして２年目なのでまだまだ新米ですが、選手歴が長いのでその経験を選手に伝えながらコーチングしています。日本のトップの女子リーグで指導できるということで非常に楽しみにしていますし、一つでも多く勝って、チームを応援くださる方々に喜んでいただけたらと思っています。

　チーム作りとしては昨シーズンを含めとても失点が多かったチームですので、ディフェンスの部分を強調しています。得点に関していえば、私自身も得点を取る選手ではなかったのであまり気にしてはいないのですが、６０点台に抑えない限り勝機はないと選手にいつも伝えてはいるので、ディフェンシブなチームを作ってきました。

　主力メンバーは昨シーズンとほぼ変わっていないので、キャプテンの森本とガードの落合を中心に得点を取って、全員で守るイメージをチームに伝えています。

【＃１１森本由樹キャプテン】

　今年は春先からずっとフィジカルな部分を中心にチームで頑張ってきました。古田ヘッドコーチの要求するチームというのは、まずはディフェンスからですので、全員でディフェンスを中心に意識して高めてきました。ここまで他のWリーグのチームとの練習試合をする機会があまりありませんでしたが、大学生相手の練習試合ではありますが、失点は減ってきている実感はあります。

《第17回Wリーグ開幕会見　コメント》

日立ハイテククーガーズ

【藪内夏美ヘッドコーチ】

　メンバーも変わり、チームも最下位ということで、実質ゼロからのスタートと考えています。とにかく一人一人基礎を中心に練習を行っています。
　インサイドの選手がいないので、平均身長もリーグで一番低いですし、中外こだわらず空いたところで積極的にシュートを打っていくというところだけです。
　キャプテンの高橋香澄のシュート力を最大限に活かして、それ以外の、移籍選手である高橋礼華選手、新人のガード鶴見・外山選手のスピードを活かすことが鍵となってくると考えています。

【＃3高橋香澄キャプテン】

　今シーズンは、昨年少なかったコミュニケーションを多く取るようにしています。手応えとしては、練習中でも下の選手が積極的に話すようになってきたので、チーム間でのコミュニケーションはよくなってきていると感じています。